



広報 — ご家族皆様でご覧ください —

ふたば



10

災害版No.29 10月号
2013



表紙写真：若い力を結集して（第7回市町村対抗軟式野球大会 双葉町選手）

町民の皆さまへ

最近の東京電力福島第一原子力発電所での汚染水問題は、深刻さを増しておりますが、ようやく国が汚染水対策に国債を投入するなど、国の関与が明確に打ち出されました。今や国際公約となったこの汚染水問題については、研究開発を含め世界の英知を結集して収束に向けて対策を講じていくことを強く要求するものであります。

9月9日には、自民党福島県連の岩城光英参議院議員のほか、2人の国会議員がいわき事務所を訪れ、町への帰還見通しの明示、学校教育の復興、町民の絆の維持など町の中長期的な課題について意見交換を行ったところです。

加須市の旧騎西高校避難所の今後の対応については、9月10日に旧騎西高校にて説明会を実施いたしました。この中で、退所後の借上げ住宅等入居が決定した方については、2週間以内に移転・退所いただくよう求めました。避難所は、最後の方が退所するまで閉鎖はしない方針ですが、移転先が未定の方についても個別の聴き取りを継続して行い、福祉施設への入所や居住先が調整でき次第、移転・

退所いただくよう促したところです。

復興公営住宅の整備については、住民意向調査を今月中に行う予定で、

この結果を踏まえて場所ごとの整備戸数や仕様など、国・県・受入自治体との協議を加速させていきます。

また、学校再開に向けては、9月に行った意向調査を踏まえて、今後開校場所を決定し、魅力ある学校とするための準備を進めていきますので、引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

結びに、町民の皆さまのご健勝を心よりお祈り申し上げます。

双葉町長 伊澤 史朗

○双葉町公式ホームページリニューアルについて

町では東日本大震災発生直後に災害版臨時サイトを開設して以来、震災・原子力災害関連の情報提供に努めてまいりましたが、この度、サイトのデザイン及びページ構成をリニューアルいたしました。

新サイトは、情報を発信する側、見る側がこれまで以上に利用しやすく、見やすいサイト構成にすることを基本とし、情報を探す全ての方がトップページから必要な情報に容易にたどり着くことができるサイトを構築いたしました。デザインは双葉町をイメージできるような双葉（若葉）の明るい緑を基調色に、復興を願う虹や空などを表現することで明るいイメージを持たせるとともに、各種パーツは丸みをもったラウンドデザイン、ボタンなどにはイラストを用いて、全体的に明るく優しい印象にしました。

【震災・原子力災害関連情報】では復興・復旧・除染や一時立ち入り、義援金の配分状況などの重要なお知らせ、【人生のできごと】では生活する上で必要な各種手続きについて掲載しています。

また、新たに【イベントカレンダー】と【町の話】を追加し、町の行事や各種支援イベントを紹介しています。

その他、ホームページのリニューアルにあわせ、双葉町公式Twitter（ツイッター）・facebook（フェイスブック）・YouTube（ユーチューブ）を開設いたしました。

Twitter・facebookでは町民の絆及びコミュニティの維持を目的に、交流会や支援イベントなどの情報を発信していきますので「フォロー」



リニューアルした双葉町公式ホームページのトップページ▶

「いいね！」をして友達とコミュニケーションの輪を広げてみてはいかがでしょうか。

YouTubeでは動画にて伊澤町長の議会定例会行政報告やいわき事務所開所式などを掲載しており、併せて「町長の部屋」では国への要望活動や町政懇談会、各種交流会での写真もご覧になれます。

今後も、町民の皆さまをはじめ、利用者の皆さまにより探しやすく、見やすく、分かりやすく、利用しやすいホームページを目指し、内容を充実させていきますのでよろしくお願いいたします。

-  http://twitter.com/futabatown_koho
-  <http://www.facebook.com/fukushima.futaba>
-  <http://www.youtube.com/user/futabakoho>

デジタルフォトフレームの電源を入れてください!

町民の皆さまに貸し出しているデジタルフォトフレーム端末について、先般、NTTドコモが提供する「フォトパネル一括管理機能」を導入しましたが、長期間電源を入れていない端末については、この機能が適用されておられません。より見やすく、より分かりやすい内容にするのと同時に、より効果的な運用を図ってまいりますので、ぜひご覧ください。

【お問合わせ先】秘書広報課 ☎ 0246-84-5202

双葉町復興支援員の紹介

双葉町では町民と役場間のコミュニケーションの円滑化・町民の交流機会の創出を図るために町と町民のパイプ役として、全国から復興支援員を募集しました。9月2日の朝礼において委嘱状交付式を行いました。3人の支援員を紹介いたします。

なお、9月17日より新たに1人の方が参画しています。また、今年度はさらに2人の方を募集し、全体で6人の方々に参画していただく予定になっています。

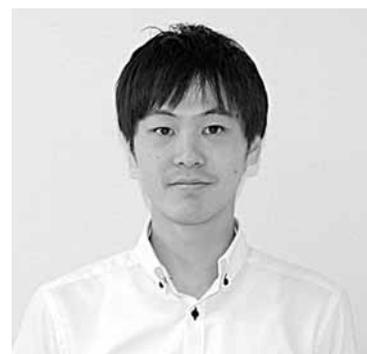


9月より双葉町復興支援員として、双葉町役場郡山支所にて勤務しております小幡雅彦（おばたまさひこ）と申します。大阪府出身の50歳です。

前職は埼玉県で金券ショップを10年間経営しておりました。福島県では10数年前に二本松市にありまます青年海外協力隊訓練所の職員として3年半の間勤務し、たいへん充実した時を過ごせました。

今回、店舗の廃業に伴い、愛着のある福島県の復興関連の職を中心に探していたところ、双葉町復興支援員の募集を知り、「これしかない」という思いで応募し、採用いただきました。

活動にあたり、私自身が双葉町の復興に寄与できることは決して大きくはないかもしれませんが、一人でも多くの町民の皆さまや諸団体の方々と話す機会を設け、復興支援員とは何であるかを理解していただき、そうすることにより、できるだけ多くの情報をいただいた上、その情報が活かせる最善の支援活動を皆さまと共に考え、実行に移せるように活動してまいります。よろしくお願いいたします。



このたび、双葉町秘書広報課でお世話になることになりました。小林辰洋（こばやし たつひろ）と申します。東京都八王子出身、今年で28歳になります。

動画撮影・編集やウェブサイト運営をしていた会社で2年ほど勤務をしており、その技術をいかして、主に、インターネットでの情報発信をお手伝いすることとなりました。情報発信を通じて、皆さまが少しでも安心した生活を送るお手伝いをできればと思っております。

これまでに、たくさんの方からお話を伺うことができ、「大切な情報が正しく、必要な人に届くこと」が必要だと感じております。そのためには、口伝えで情報を伝えることも必要となっ

てきます。両支援員（小幡さん、芳門さん）とも密に連携し、正しい情報が必要な人に届けられるよう、微力ではありますが、お力添えできれば幸いです。

イベント取材などで、お会いする機会もあると思います。その時は気軽に声を掛けただけであれば嬉しいです。よろしくお願いいたします。



このたび、双葉町復興支援員になりました。芳門里美（よしかとさとみ）です。

東京都調布市出身で、前職では倉庫会社で物流のシステムの構築・管理をしていました。学生時代には社会福祉を専攻し、高齢者福祉、地域づくりについて学び、社会福祉士の資格を取得いたしました。今年の4月に宮城県の南三陸町に行く機会があり、実際に

被災地を見て、震災復興に関わりたいと思い、支援員に応募しました。

双葉町は津波被害のみでなく、原発事故によって町民の皆さんがバラバラに避難している状況で、震災から2年半以上経った今だからこそさらに必要な、町民の皆さんの様々なつながりづくりをお手伝いし、これから先の不安を少しでも軽減できるよう精一杯活動します。

どうぞよろしくよろしくお願いいたします。見かけた際にはどうぞお声掛け下さい。



双葉町の人事行政の運営等の状況の公表

双葉町における「人事行政の運営等の状況」を条例に基づきお知らせ致します。

1. 職員の任免及び職員数に関する状況

(1) 採用候補者試験・職員選考の実施状況 (平成24年4月1日～平成25年4月1日採用)

区分	申込者数			第1次試験受験者数(A)			第1次試験合格者数			最終合格者数(B)			競争率(倍) (A)/(B)
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
行政職	20	7	27	16	7	23	8	6	14	2	4	6	3.8
土木職	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	*
建築職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	*
保健師	2	4	6	2	2	4	1	2	3	1	1	2	2.0
合計	23	11	34	19	9	28	9	8	17	3	5	8	3.5

(2) 職員の退職の状況 (平成24年4月1日～平成25年3月31日) (単位:人)

	定年退職	普通退職	死亡退職	懲戒免職	計
人数	4	3	0	0	7

(3) 職員の定数の状況 (平成25年4月1日現在) (単位:人)

部局	定数	職員数	差引
町長事務部局	79	69	▲10
議会事務部局	2	2	0
農業委員会事務部局	1	1	0
教育委員会事務部局	20	11	▲9
選挙管理委員会事務部局	(3)	(3)	(0)
監査委員事務部局	(2)	(2)	(0)
合計	102	83	▲19
	(5)	(5)	(0)

(注) 教育長、通年雇用職員は含みません。()内は兼務職員数です。

(5) 国との給料月額の水準比較(ラスパイレス指数)の状況

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
一般行政職	93.4	96.1	94.7	94.6	-	102.2

(注) (注)「ラスパイレス指数」は、国家公務員の給料を100とした場合の町職員の給与水準を示したものです。
なお、平成23年度は、震災の影響により算出しておりません。

(4) 部門別職員数の状況 (各年4月1日現在) (単位:人)

区分	部門	職員数		対前年比 増減数
		平成24年	平成25年	
一般行政	議会	2	2	0
	総務	38	37	▲1
	税務	6	6	0
	農林水産	7	7	0
	商工	1	1	0
	土木	4	4	0
	民生	6	9	3
	衛生	6	8	2
	計	70	74	4
教育		12	11	▲1
一般行政+教育		82	85	3
特別会計	下水道	1	1	0
	その他	3	2	▲1
	計	4	3	▲1
合計		86	88	2

(注) 教育長、通年雇用職員を含みます。

2. 職員の勤務時間、勤務条件及びサービスの状況

(1) 職員の勤務時間 (平成25年4月1日現在)

1週間の勤務時間	開始時間	終了時間	休憩時間	休憩時間
38時間45分	8:30	17:15	廃止	12:00～13:00

(2) 年次有給休暇の取得状況 (平成24年1月1日～平成24年12月31日)

年度	総付与日数(日)	総使用日数(日)	全対象職員数(人)	平均使用日数(日)	取得率(%)
平成24年度	2,161	649	56	11.6	30.0%
平成23年度	2,712	409	70	5.8	15.1%

(注) 育児休業者は除く

(3) 時間外勤務及び休日勤務等の状況

(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

年度	時間外・休日勤務総時間	職員一人あたりの平均時間
平成24年度	10,200時間	141時間
平成23年度	21,603時間	318時間

(4) 育児休業の状況

(平成24年4月1日～平成25年3月31日) (単位:人)

	男性	女性
新たに育児休業を取得した者	0	0
前年度から引き続いている者	0	1

3. 職員の分限及び懲戒処分等の状況

(1) 分限処分者数 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(単位:人)

処分事由(※地方公務員法第28条第1項及び第2項)	降任	免職	休職	降給	計
勤務実績が良くない場合	0	0	0	0	0
心身の故障の場合	0	0	2	0	2
職に必要な適格性を欠く場合	0	0	0	0	0
職制、定数の改廃、予算の減少により廃職、過員を生じた場合	0	0	0	0	0
刑事事件に関し起訴された場合	0	0	0	0	0

(2) 懲戒処分者数 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(単位:人)

処分事由(※地方公務員法第29条第1項)	戒告	減給	停職	免職	計	訓告	嚴重注意
法令、条例等に違反した場合	0	0	0	0	0	0	0
職務上の義務に違反し、又は職務を怠つた場合	0	0	0	0	0	0	0
全体の奉仕者たるにふさわしくない非行のあった場合	0	0	0	0	0	0	0

夏の思い出

Summer Memories

- 7月20日 夢ふたば人夏祭り・盆踊り
- 7月26日 県北借り上げ住宅自治会盆踊り
- 8月3日 さくら応急仮設住宅自治会盆踊り
- 8月14日 白河郭内第一、第二応急仮設住宅自治会盆踊り
- 8月16日 北幹線第二応急仮設住宅自治会盆踊り大会
- 8月17日 つくば自治会夏祭り
- 8月17日 御先祖様供養盆踊り・南台仮設住宅自治会盆踊り
- 8月17日 郡山富田仮設住宅納涼祭
- 8月18日 旧騎西高校自治会夏祭り
- 8月24日 喜久田応急仮設住宅自治会盆踊り
- 8月31日 県中借り上げ住宅自治会盆踊り大会



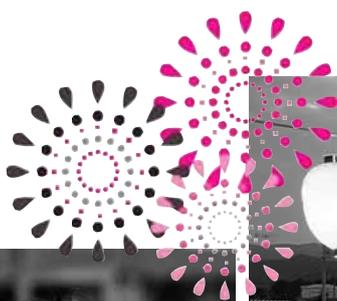
町民の方も地元の方も一緒に輪になって盆踊りを楽しみ、絆を深めました。



避難先各地で夏祭りや盆踊り大会が盛大に開催されました



出店やスイカ割り、花火、よさこい踊り、カラオケなど自治会ごとにさまざまな志向を凝らした夏祭り・盆踊り大会が行われました。



ふるさとへの想いを胸に...

夏のひとときを
楽しみました。



参加者募集

明日へ
つなぐ船

将来の地域づくりの主角を担っていく子どもたちが、茨城から北海道に向けて出港するフェリーの船上で、ふるさと福島への想いを語り合うことで、記憶を風化させずにこれから自分たちは何ができるか、何をすべきなのかをともに考えるきっかけをつくります。

- 日 程 12月25日(水)～12月28日(土)までの3泊4日
(船上での2泊含む)
- 内 容 大洗港～苫小牧港のフェリーの往復と北海道滞在を通しての交流会・研修会
〔当日の詳細な内容は福島から茨城に避難されている方や茨城県民と企画中です〕
- 対 象 震災時、浜通り在住の現在中学生、小5、6年生

- 参加費 10,000円
- 募集人数 20名 (応募多数の場合 書類選考)
引率者は6名を予定
- 主 催 明日へつなぐ船 実行委員会
(参画団体:積小為大の会、茨城NPOセンター・コモンズ等により構成)
- 申込期間 10月10日(木)～11月20日(水)
参加希望者に応募用紙を郵送
(※応募者多数の場合は書類による選考)
- 集合場所 大洗港
〈集合〉12月25日(水) 17:30(予定)
〈解散〉12月28日(土) 15:00(予定)
※集合・解散場所の大洗港までの交通費
に関しては各自ご負担願います。

【申込み・問い合わせ先】
明日へつなぐ船実行委員会事務局
(特定非営利活動法人 茨城NPOセンター・コモンズ内)
担当：天井(あまい) まで
〒310-0022 茨城県水戸市梅香二丁目1番39号
茨城県労働福祉会館2階
☎：029-300-4321
FAX：029-300-4320
Eメール：info@npocommons.org

避難指示区域内の共同墓地等の 除染・環境整備事業が始まります

以前より国に要望しておりました帰還困難区域内の共同墓地の除染・環境整備事業が間もなく始まります。

この除染では、町民の皆さまが安心して墓参りができるように除染作業及び墓石の移動、仮置き等の作業を環境省と町が一体となって実施いたしますので、町民の皆さまのご理解、ご協力をお願いいたします。

○除染（環境省）→除草、堆積物の除去、墓石の吹き取り、覆土等

○墓石の移動、仮置き（復興庁が町に委託）

→敷地内に散乱した墓石や崩れ落ちる危険がある墓石を移動させ、除染後、個人所有部分の安全な場所に仮置き



※墓石のひび割れ、破損等の修復や固定（接着等）は行いません。

一斉搜索活動について

2011年3月11日、東日本一帯を襲った大地震と巨大津波は、当町に未曾有の被害をもたらし、17人の方が尊い命を亡くされ、4人の方が依然として行方不明となっております。

去る5月28日の区域再編に伴い、沿岸部の3地区（中野・中浜・両竹）が避難指示解除準備区域に編成され、立ち入りが自由になったことから、県警で毎月実施されている特別捜査活動に合わせて、町、議会、消防、地域住民が一体となり、下記により搜索活動に参加することになりましたので、参加、ご協力をお願いいたします。

1、日時 10月11日(金)

午前9時20分…請戸漁港集合

午前9時30分…出動式

午前10時～午後3時…搜索活動

(途中、昼食休憩)

午後3時20分…解散式

午後3時30分…解散

2、搜索場所 海岸一帯

双葉海浜公園駐車場を ドクターヘリのヘリポート として利用します

双葉広域消防本部では、住民の皆さまが一時帰宅された際の救急対応を行っております。救急救命業務の一環として、双葉海浜公園駐車場を救急時のドクターヘリのヘリポートとして利用することになりました。

人命救助に関わることでありますので、町民の皆さまが一時立ち入り等で双葉海浜公園駐車場をご利用される際は、必要に応じてすぐに車両を移動できる状況で利用されるなど、自己管理ができる範囲でご利用くださいますようご協力をお願いいたします。



双葉町消防団秋季検閲について



双葉町消防団秋季検閲式を下記のとおりいわき市において挙行いたします。

1、日時 10月14日(月)

午前10時～12時（小雨決行）

2、場所 いわき市立湯本第一中学校

いわき市常磐湯本町吹矢11番地

☎ 0246-42-4158

(学校へ直接の電話等による問い合わせはご遠慮願います)
※各分団員は、分団指揮者の命令に従って集合してください。(車の乗り合わせなどのご協力をお願いいたします)

双葉町役場埼玉支所移転のお知らせ

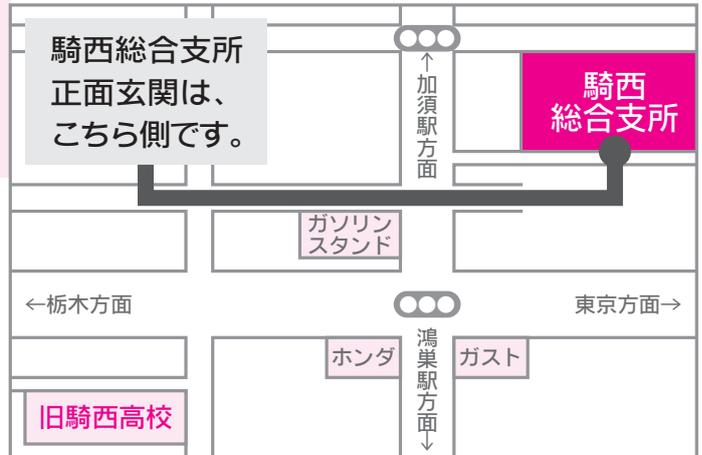
埼玉県加須市の旧騎西高校内にありました埼玉支所は、9月30日に同市の騎西総合支所内に移転し、10月1日から業務を開始する予定となります。
 なお、業務内容に変更はありません。

移転先

〒347-0105 埼玉県加須市騎西36番地1
 加須市騎西総合支所内1階

※電話番号及びファックス番号が変更となります。

- ・電話番号 0480-53-7780
- ・FAX番号 0480-53-7266



福島県からの
お知らせ

原子力損害賠償に係る

巡回法律相談のご案内

福島県では、福島県弁護士会と連携し、弁護士による対面の法律相談を実施しております。相談料は無料ですので、請求手続きにおける不明な点などお気軽にご相談ください。

なお、事前予約制としておりますので、右記までご連絡いただきますようお願いいたします。

事前予約受付番号 ☎ 024-523-1501

(原子力損害の賠償等に関する問い合わせ窓口)

- 受付時間：午前8時30分から午後5時15分（平日）
- 相談時間：30分
 （午後1時30分から午後3時30分の間に実施）
- 相談料：無料
- 実施場所：福島県内9市町

巡回法律相談実施予定 10月

実施市町村	実施日	実施会場（所在地）
福島市	10月23日(水)	福島県青少年会館 1階第6研修室 (福島市黒岩字田部屋53-5)
二本松市	10月16日(水)	福島県二本松合同庁舎 2階会議室 (二本松市金色424番地の1)
伊達市	10月9日(水)	福島県伊達合同庁舎 1階会議室 (伊達市保原町大泉字大地内124番地)
郡山市	10月2日(水) 24日(木) 30日(水)	福島県郡山合同庁舎 第4会議室 (郡山市麓山1-1-1)
白河市	10月3日(木) 10日(木) 17日(木)	白河商工会議所 2階交流室 (白河市道場小路96-5)
会津若松市	10月7日(月) 18日(金) 25日(金)	福島県会津若松合同庁舎 本館3階地域連携室 (会津若松市追手町7-5)
南会津町	10月9日(水) 23日(水)	福島県南会津合同庁舎 4階会議室 10/9は2階会議室 (南会津町田島字根小屋甲4277-1)
南相馬市	10月10日(木) 17日(木) 24日(木)	福島県南相馬合同庁舎 北庁舎1階県政相談室 (南相馬市原町区錦町1-30)
いわき市	10月1日(火) 8日(火) 22日(火)	福島県いわき市合同庁舎南分庁舎 3階中会議室 (いわき市平字梅本15番地)

行政区からのお知らせ

下条行政区

下条行政区長 藤田 博司

総会（大字会）並びに交流会を開催いたしますので、ご参加ください。

○日 時 11月9日(土)～10日(日) 1泊2日
総 会…午後3時～
交流会…午後6時～

○場 所 太平洋健康センター勿来温泉 関の湯
いわき市勿来関田須賀1-4
☎ 0246-65-1126

○会 費 大 人1人……………11,000円
交流会のみ参加の方 ……7,000円

○申込締切 10月20日(日)
※参加（宿泊）される方は、準備の都合上、早目の連絡をお願いいたします。

【連絡先】・藤田 博司 ☎ 090-5830-7988
・上原 滋 ☎ 090-9749-6038
・作本 信一 ☎ 090-7062-4083

鴻草行政区

鴻草行政区長 高松 平

大字総会・懇親会を開催いたしますので、ご参集ください。

○日 時 11月2日(土)～3日(日) 1泊2日
受 付…午後1時～
総 会…午後2時30分～
懇親会…午後6時～

○場 所 磐梯熱海温泉「清稜山倶楽部」
郡山市熱海町熱海5-18
☎ 024-984-2811

○会 費 大 人1人……………10,000円

○交通手段 各自ご参集願います。
※参加（宿泊）される方は、準備の都合上、早目の連絡をお願いいたします。

【連絡先】区 長 高松 平 ☎ 090-3126-0415
庶務・会計 泉田 健一 ☎ 090-4313-0107

第2回 下羽鳥交流会

下羽鳥代表 阿部 利一

交流会を開催いたしますので、ご家族お揃いでご参加ください。

○日 時 11月11日(月)～12日(火) 1泊2日
交流会…午後5時～
懇親会…午後6時～

○場 所 ホテルハイアンズ
いわき市常磐藤原町蕨平50
☎ 0246-43-3191 (代表)

○会 費 宿泊の方 1人……………14,000円
(滞在中のハイアンズ入場券付)
日帰りの方 1人 ……5,000円
(ハイアンズ入場券は含まれておりません)

○申込締切 10月10日(木)
※準備の都合上、早目の連絡をお願いいたします。
※東京方面の方は無料送迎バスも利用できます。
いわき開催世話人 横山実 榎内藤吉 澤上 栄

【連絡先】・澤上 栄 ☎ 0246-38-9394

山田行政区

山田行政区長 渡部 一美

総会（大字会）並びに懇親会を開催いたしますので、ご参加ください。

○日 時 11月11日(月)～12日(火) 1泊2日
総 会…午後2時30分～
懇親会…午後6時～

○場 所 磐梯熱海温泉 金蘭荘 花山
郡山市熱海町熱海4-321
☎ 024-984-2111

○会 費 大 人1人……………14,000円

○申込締切 10月25日(金)
※参加（宿泊）される方は、準備の都合上、早目の連絡をお願いいたします。

【連絡先】区 長 渡部 一美 ☎ 080-5573-3708
副区長 志賀 隆信 ☎ 023-674-2540



総会(大字会)・交流会

— 郡山地区 —

9月7、8日、磐梯熱海温泉において、県外の避難先から94人が集まり、震災後2回目となる郡山地区の総会及び交流会が1泊2日の日程で開催されました。

総会に先立ち、震災で犠牲になられた方々に黙とうが捧げられました。

続いて平成24年度一般会計並びに特別会計の決算報告、役員改選が行われました。また、今後の郡山地区の運営方法について話し合われました。

交流会では、佐藤一夫区長から「今後の選択と決断が迫られようとしている中で、昨年とは違った思いの交流会になると思います。私たちは永遠に郡山地区の住民として帰還意識を持ち、定期的に交流会を開き、どんな状況にも負けることなく、前を向いて進んでいきましょう」とあいさつがありました。

また郡山地区の三大行事の一つとして行われていた神楽の奉納が3年ぶりに行われました。地区の皆さんは、郡山地区での懐かしい思い出を夜がふけるのも忘れて語り合い、1年ぶりの再会を喜び合いました。翌日も別れを惜しみホテルロビーでの語らいは尽きませんでした。

来年も交流会を催すことを決め、長年にわたり築いてきた郡山地区のコミュニティを維持していくことを誓い合うとともに、また会う日まで元気でいることを約束しました。

双葉農業普及所からのお知らせ

双葉農業普及所は、毎月県内6カ所で、避難されている農家の皆さんの相談窓口を設置しております。

窓口では、相談者の現在の状況を聞き取らせていただきながら、皆さんが必要な情報、(農産物・土壌モニタリング結果、原子力災害に対応した農業技術情報、資金・事業の紹介など)をわかりやすくご説明いたしますので、お気軽にお越しください。

郡山市南一丁目応急仮設住宅集会所での相談窓口は9月で終了しましたので、最寄りの相談窓口をご利用ください。また、電話等での相談も随時行っております。

10月の日程は右記のとおりです。
 ※町村問わずに最寄りの窓口にお越しください。
 ※右記以降の日程は随時お知らせいたします。

双葉農業普及所ブログ「ふたばの農業通信」に掲載しておりますので、ご利用ください。パソコン、携帯電話からご覧になれます。(携帯電話のパケット料金にはご注意ください) ※時間：午前10時～午後3時

10月4日(金)	双葉町役場いわき事務所 (いわき市東田町地内)
10月18日(金)	10月10日(木)
10月10日(木)	榎葉町役場いわき出張所 (いわき明星大学 大学会館2階)
10月11日(金)	葛尾村役場三春出張所 (三春貝山多目的運動公園内)
10月17日(木)	郡山市富田町若宮前応急仮設住宅集会所 (富岡町仮設住宅)
10月24日(木)	浪江町役場二本松事務所 (二本松市平石高田第二工業団地内)
10月25日(金)	大熊町役場会津若松出張所 産業建設課内

※10月17日の時間は10:00～12:00になりますので
 ご注意願います。

【問い合わせ先】双葉農業普及所

☎ 0246-24-6044
 FAX 0246-24-6142

労使困りごと無料相談会

福島県と福島県労働委員会では、皆さんの職場における賃金や勤務時間などの労働条件、解雇、退職等に関する労使間の困りごとについて、平日ではご相談が困難な労働者や使用者のために下記の日程で相談会を開催いたします。

相談は無料で秘密は厳守しますので、お気軽にご相談ください。

1、出張相談会

開催日	会場
10月26日(土)	県いわき合同庁舎南分庁舎
10月27日(日)	郡山市障害者福祉センター

※相談時間は午前10時～午後3時です。

※事前予約も受け付けております（予約は問い合わせ先へお願いいたします）

2、休日電話相談会

10月26日(土)、27日(日) ☎ 024-521-7594

※相談時間は、午前9時～午後5時です。

【問い合わせ先】

福島県労働委員会事務局

☎ 024-521-7594

Eメール：roudousoudan@pref.fukushima.lg.jp

※労使困りごと無料相談は、上記以外の期間についても、来所、電話（土日祝日を除く午前8時30分から午後5時15分まで）、Eメール（随時）で受け付けておりますので、お気軽にご相談ください。

第12回双葉地方広域消防職員意見発表会

第12回双葉地方広域消防職員意見発表会を開催します。「守れ尊い命」消防活動現場から若き消防隊員の「生」の声をお聞き下さい。

- 日時 11月13日(水) 午後1時30分～午後3時
 - 場所 川内村コミュニティセンター 大ホール
 - 発表者 消防職員5人
 - 主催 双葉地方広域市町村圏組合消防本部
 - その他 入場は無料です
- ※来場される方は、予め下記問い合わせ先へ人数等の連絡をお願いいたします。

【問い合わせ先】

双葉地方広域市町村圏組合消防本部総務課

☎ 0240 (25) 8523

相双地域ポータルWebサイト

「相双ビューロー」のリニューアルについて

相馬・双葉地方の地域ポータルウェブサイト「相双ビューロー」が平成25年8月28日付けでリニューアルされました。皆さまからの相馬・双葉のイベント情報をお待ちしています。

メールアドレスは

sosojoho@yumesoso.jp

【問い合わせ先】

NPO法人 うつくしまVST相双支部

田中 ☎ 0244-26-3160

にこにこサロン を開催します

10月 開催予定日

平成25年度の福島県内における介護予防事業「にこにこサロン」は、下記のように仮設住宅集会所及び地域の市民会館・公民館等において開催予定です。

「健康チェック（血圧測定）」、「にこにこ体操（音楽に合わせた体操やストレッチ体操）」、「折り紙」、「脳トレゲーム」等を通して参加者の皆さんと楽しい時間を過ごします。町民同士の交流の場、情報交換の場、再会の場としてご利用ください。たくさんの方の参加をお待ちしています。

仮設住宅集会所	住所・電話	開催月日	時間
サポートセンター「ひだまり」	いわき市南台3丁目1-1 0246-38-7105（事務所）	10月1日(火)	13:30～15:30
喜久田仮設住宅 集会所	郡山市喜久田町早稲原字上ノ端54-4 080-6290-5960（木村）	10月1日(火)	13:30～15:30
白河仮設住宅第二集会所	白河市郭内151-29 080-6290-5954（廣田）	10月3日(木)	13:30～15:30
さくら仮設住宅 集会所	福島市さくら1丁目10-1 080-6290-5941（林）	10月15日(火)	13:30～15:30
市民会館・公民館等	住所・電話	開催月日	時間
会津若松市老人福祉センター （文化センター2階 中ホール）	会津若松市城東町14-52 0242-26-6666	10月7日(月)	11:00～15:00
郡山市総合福祉センター 5階	郡山市朝日一丁目29番9号 024-924-2950	10月8日(火)	11:00～15:00

【問い合わせ先】双葉町社会福祉協議会 いきいきサポートセンター（介護予防事業所）

☎ 080-6033-1199(古室)



3食きちんと食べていますか

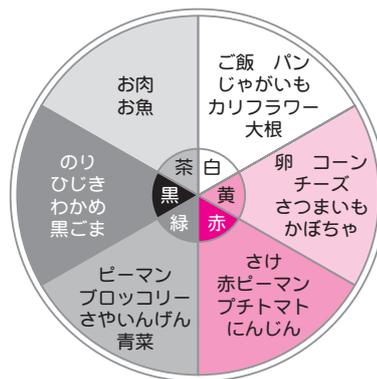
昼食には、朝食で得たエネルギーのうち、午前中の活動で使ってしまった分を補うという意义があります。ですから、エネルギー源になるご飯やパン、めんを中心に、不足しがちなミネラル、ビタミンを含むものを加えます。おかずはビタミンの多い野菜類や、カルシウムが多い乳製品や小魚、鉄分の多いのりやひじきなどを使って作ります。

また、お昼は一息ついて午後から頑張るための時間でもあります。そこで、肉や魚、卵といった食べ応えのあるものを加えてスタミナをつけます。量は、卵なら1個、肉・魚は60g程度、厚揚げ・豆腐など大豆製品は70gをめやすにしてください。

家族や自分のお昼ご飯にお弁当を作っている人もいます。お弁当は、主食・主菜・副菜のバランスを3・1・2にするとバランスがよく、お弁当箱の容量(ml)がカロリーとほぼ同じになります。凝った料理をしなくても、彩りの豊かさは、「おいしそう」のひとつの要素になります。

朝晩涼しくなってきました。夏の疲れをとり、風邪をひかないように免疫力を高める栄養を取りたいです。粘膜を強くし、風邪予防に効果のあるビタミンAを含む野菜を使ったレシピを紹介します。電子レンジを使った簡単なレシピで、お弁当にもおすすめです。

下の図にお弁当によく使う食品の色を示しました。4色くらい入っていればじゅうぶんです。おかずを考える参考にしてください。おかずが地味になってしまった時は、ご飯にふりかけをかけたたり、さけフレークやきざんだ大葉やブロッコリーなどを混ぜれば、彩りがよくなります。



ピーマンの肉詰め



<材 料>

ピーマン 1個 豚ひき肉 100g 塩・こしょう 少々 片栗粉 小さじ1、ケチャップ 小さじ2

<作り方>

準 備：ピーマンを縦半分切って種をとり、片栗粉をつけておく。

①ひき肉に塩、こしょうをして、混ぜ、ピーマンにつめる。

②耐熱皿に乗せてラップをかけ、レンジ(600W)で3～4分加熱する。

③ケチャップをかける。

※スーパーで売っているハンバーグの種を使うとより簡単です。

にんじんのマスタードあえ



<材 料>

にんじん 1本(160g) たまねぎ 1/4個(40g)
オリーブ油・粒マスタード・酢 大さじ1と1/3

<作り方>

準 備：にんじんはうすく食べやすい大きさに切る。玉ねぎはみじん切りにする。

①熱容器(皿やタッパー)ににんじん、玉ねぎを入れ、オリーブ油をかけて2分(600W)加熱する。

②マスタード、酢を加えて和え、塩コショウで味を調える。

※ピーラーを使って薄切りにすると手間が省けます。

あと1品

※じゃがいものじゃこ和え…好みの

大きさに切ったじゃがいもを電子レンジで加熱して、ちりめんじゃこ、マヨネーズ、ドレッシングと和えます。



食と放射能に関する説明会

福島県では、県民に対し食品と放射能に関する正しい情報や知識を提供し、不安や疑問を解消してもらうため「食品と放射能に関する説明会」を県内各所で開催しております。

このたび、双葉町も県内4カ所で説明会を開催する運びとなりましたので、最寄りの会場で聴講されますようご案内いたします。

開催月日	時間	会場
10月11日(金)	13:30	郭内応急仮設住宅集会所 (白河市)
10月18日(金)		南台応急仮設住宅集会所 (いわき市)
11月14日(木)	15:30	富田応急仮設住宅集会所 (郡山市)
12月6日(金)		北幹線第二応急仮設住宅集会所 (福島市)

<主催> 福島県消費生活課 <説明会進行> 超学際的研究機構

説明会内容

- (1) 食品と放射能に関する講演 ……大学教授等、学識経験者
- (2) 食品中の放射性物質の基準値 ……消費者庁職員
- (3) 放射能簡易分析装置による測定実演 ……メーカー職員

※参加費は無料です。



【問い合わせ先】
 産業建設課 産業係
 ☎ 0246-84-5209

参加してみませんか 家族のためのうつ病教室

うつ病と診断され治療中の方のご家族を対象に家族教室を開きます。

うつ病の正しい知識を学び、家族としての役割やご家族自身が元気になるための方法を他のご家族と一緒に考えてみませんか。

思うようにならないつらさ、あせり等、一人で悩まずに他のご家族の話聞くことも心配や不安の解消につながります。

- 対象…うつ病で治療中の方のご家族
 - 場所…相双保健福祉事務所 (相双保健所) 1階第4相談室
- ※参加費は無料です。事前にお申し込みください。

【申し込み・問い合わせ先】
 福島県相双保健福祉事務所
 障害者支援チーム
 ☎ 0244-26-1132
 FAX 0244-26-1139

	日 時	内 容
第1回	10月17日(木) 10:00~12:00	○講話「うつ病の基礎知識」 主治医との付き合い方も含む 講師 雲雀が原病院 精神科医師 堀 有伸氏 ○話し合い
第2回	11月21日(木) 13:30~15:30	○講話「活用できる社会資源について ～職場復帰支援～」 講師 福島障害者職業センター職員 ○講話・話し合い 「家族も元気になりましょう～ 家族のストレス対処法～」 講師 南相馬市立総合病院 臨床心理士 熊坂しのぶ氏

※第3回(12月)、第4回(2月)を予定しています。

Google マップのストリートビューのお知らせ



Google社により、福島県内の避難指示区域にあたる地域を含む沿岸部のストリートビューが新たに公開されました。これにより、町内の主要道路沿いのストリートビューを見ることができます。

ストリートビューはGoogleマップの機能で、そこにいるかのように周りの風景を360°のパノラマ写真で見ることができます。

双葉町のストリートビューを見るには、Googleマップで「双葉町」と検索し、青くハイライトされた道路上的ご覧になりたい場所に、黄色い人形型のアイコン「ペグマン」をドラッグ、ドロップしてください。

ストリートビューに写り込んだ公開に適さない画像を見つけた場合は、ボカシ処理をGoogleに依頼することができます。ストリートビューの画像上の[問題の報告]というリンクから、もしくは、専用窓口からご連絡ください。<http://www.google.co.jp/intl/ja/help/maps/streetview/privacy.html>



教育総務課生涯学習係 事業開催のお知らせ

【生活学級】 どなたでも参加できますので、皆様お誘い合わせのうえご参加下さい。

(健康講座)

日	時	学級名	会	場
10月7日(月)	午前10時30分	いわき生活学級	いわき市	いわき市文化センター
10月9日(水)	午前10時00分	つくば生活学級	つくば市	つくば市並木交流センター
10月15日(火)	午前10時30分	みなみだい生活学級	いわき市南台	南台仮設住宅第2集会所
10月21日(月)	午前10時30分	かぞ生活学級	加須市	騎西コミュニティセンター
10月18日(金)	午前10時30分	あいづ生活学級	会津若松市	会津稽古堂研修室6
10月23日(水)	午後1時30分	しらかわ生活学級	白河市	白河市立図書館地域交流会議室

(郷土文化講座)

日	時	学級名	会	場
10月3日(木)	午前9時出発	そうま・みなみそうま生活学級	南相馬市・相馬市	現地研修 (宮城県丸森町)
10月25日(金)	午前9時出発	こおりやま生活学級	郡山市	現地研修 (郡山市内)
10月29日(火)	午前9時出発	ふくしま生活学級	福島市	現地研修 (福島市内)

(防犯予防講座)

日	時	学級名	会	場
10月1日(火)	午前10時30分	こおりやま生活学級	郡山市	郡山市喜久田応急仮設住宅集会所

【婦人学級】

日	時	学級名	会	場
10月22日(火)	午後1時	梅檀婦人学級	福島市	福島市アクティブシニアセンター・アオウゼ
10月3日(木)	午前9時出発	しらゆり婦人学級	南相馬市	現地研修 (宮城県丸森町方面)
10月17日(木)	午前8時30分出発	桜婦人学級	いわき市	交流会 (茨城県笠間市)
10月29日(火)	午前7時出発	すみれ婦人学級	いわき市南台	現地研修 (会津若松市方面)
10月7日(月)	午前9時出発	ひまわり婦人学級	白河市	現地研修 (那須方面)
10月26日(土)	午前9時出発	さくら生活学級	つくば市	現地研修 (つくば市内)
10月13日(日)	午前10時出発	ふたば婦人学級	会津若松市	現地研修 (会津若松市内)
10月17日(木)	午前8時出発	はなみずき婦人学級	加須市	交流会 (茨城県笠間市)

平成26年双葉町成人式について

日 時 平成26年1月4日(土)
 受 付：12時～(予定)
 記念撮影：13時～(予定)
 式 典：13時30分～(予定)
 場 所 スパリゾートハワイアンズ「ラピータ」



☆対象者 平成5年4月2日～平成6年4月1日生まれの方
 ☆対象者の方には、10月中旬まで案内状を送付いたします。
 ☆遠方からお越しの方のために美容室の情報をご案内する予定です。
 ☆宿泊を希望する新成人者には宿泊費(限度額あり)を補助いたします。
 ☆案内状が届かない場合は、10月31日(木)までに下記へご連絡ください。

【問合せ先】 教育総務課 生涯学習係 ☎ 0246-84-5210

温かいご支援をありがとうございます

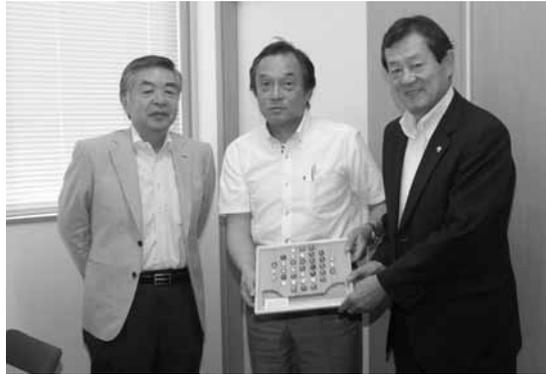
▶8月23日、館林博様(細谷)より手作りのつるし雛をご寄贈いただきました。



▶8月19日、株式会社アイライフ(中林幸一社長)様より義援金(3回目)をいただきました。



▶8月28日、たまきはる福島基金(玄侑宗久理事長)様より「ぼけない君」10セットをご寄贈いただきました。



▶9月2日、ヨシディア株式会社様から車イスをご寄贈いただきました。



仮設住宅への入居者募集(継続)

1. 募集物件 (9月6日現在)

地区	間取り	募集戸数	住 所
福島市	2 K	12戸	飯坂町平野字内小原田8-1
	3 K	15戸	
	計	27戸	
福島市	2 K	4戸	福島市さくら1丁目10-1
	計	4戸	
郡山市	1 K	4戸	喜久田町早稲原字上ノ端54-4 (3 Kはペットゾーンのみ)
	2 K	5戸	
	3 K	1戸	
	計	10戸	
	郡山市	1 K	1戸
2 K		7戸	
3 K		10戸	
計	18戸		
白河市	1 K	2戸	郭内151
	2 K	23戸	
	3 K	19戸	
計	44戸		

※3 Kは3名以上で受け付けします。

※被災証明または罹災証明の写しを付けてお申込みください。窓口受付時間：午前9時から午後5時まで

【問い合わせ先】郡山支所 ☎ 024-973-8090
FAX 024-933-5124

ふたばワールド2013

双葉郡8町村による交流イベント「ふたばワールド2013」を広野町で開催します。

双葉郡の皆さまが一堂に会する貴重な場所ですのでご家族・ご近所お誘い合わせのうえ、ご来場ください。皆さまのご来場をお待ちしています。

○催事名 ふたばワールド2013

～一緒に創ろう…ふたばの明日!!～

○日 時 10月19日(出) 午前10時～午後3時

○場 所 広野町総合グラウンド

双葉郡広野町中央台一丁目5番地

○内 容 ・ふたばの大鍋復活プロジェクト

(大鍋すいとん汁…無料)

・ステージパフォーマンス「ふたば伝承隊」
(伝統芸能等のステージ)

・まるごとふたば体験工房

(来場者体験企画)

・ふたば地方なう

(復旧・復興に関する展示・PR、住民の交流の場)

・来場者送迎バスツアー「ふたばへGO！」

(県内各地から発着する送迎バス)

【問い合わせ先】ふたばワールド実行委員会事務局
☎ 024-521-8023





FUTABA

第6号

ふるさと
と
絆きずな
通信

双葉町を忘れない

平成23年3月11日に発生した東日本大震災、そして福島第一原子力発電所の事故により、私たち双葉町民はふるさと双葉町を離れ、今もなお全国に分かれて避難生活を送っています。

先の見えない不安な生活の中で、町民の皆さんが毎日どのような思いで過ごし、ふるさと双葉町への思いを抱き続けているのかを、皆さんの声をお聴きしながら「ふるさと絆通信」として連載していきます。

そして「ふるさと絆通信」を通して、皆さんの双葉町への思いと心の絆がより一層深まることを期待いたします。



あさかわ よういち
朝川 洋一 さん

(渋川)



●避難先●
福島県いわき市



あの巨大地震に遭遇して妻とともに無事だったものの、その直後から停電になり、テレビも見れず電話も通じない状態で、震災についての情報を全く断たれた状況でした。地震発生の際から自宅の復旧作業を行っていました。その午後、屋根の修理をしていた時、ドスンという音が聞こえました。どこかで爆発でもあったのか思いましたが、まさか原発とは思いませんでした。13日になって、町内に住む兄弟のもとを訪ねましたが、道中、人の姿を見ることがほとんど無く、山のようになっているがれきを見て、津波の発生を初めて知りました。そして、翌14日朝、情報を得るべく役場に向かいましたが電気は消え、人の姿はありません。そればかりか、町内には、家族や親類が居ないと探し歩く人や、津波のがれきの前に海岸方向を見ながら茫然とたえずむ人の姿が所々に見受けられました。早速、帰宅し、妻にその状況を告げ、私は行政区長をしていたため区内内全世帯を回り、避難していることを確認し、妻とともに町を離れました。そして川俣町内の避難所に向かいました。

あまり涙してしまいました。その後、一昨年6月末まで姉のもとで世話になり、郡山市内の借上住宅に移りました。72歳にして初めてのアパート暮らし。原発事故により、仕事と生きがいである農業を奪われたことは、人生最大の不幸です。百姓仕事のため太かった手や指は細くなり、足腰は弱っていくばかりでした。「このままではだめになるだけ、また農業をやりたい」と思い、近所の方に話し、農地を借りました。初め、虫や雑草に苦労しましたが、翌年は大豊作となり、近所の皆さんに、ささやかではありますがおすそ分けできるほどでした。また、県内に戻って以降、友人や知人たちとの地理的な距離も縮まり、互いの交流も再開できるようになりました。しばらく郡山市で過ごしましたが、できればいわき市内に住む長男の近くでと考えていました。物件不足でなかなか見つかりませんでした。ついに、今年の7月中旬、そうした賃貸物件と巡り合い、現在のところに移りました。早速、庭に野菜を植え、近所に50坪ほどの畑を借りることもできました。

避難してから3度目の初秋を迎えました。猛暑を背負ったままの残暑が続いているとはいえず、周囲の水田が日々色づいていく様子に故郷を思い出しますが、皆さんとの絆を大切に過ごしたいと思っています。



かわはら みつよし
川原 光義 さん

(山田)



●避難先●
福島県福島市

地震発生当時、大熊町内で買物を終え帰宅したところでした。自宅内は家具が倒れたり、天井近くに飾られた額などが落下し割れたガラスや食器などが散乱するひどい状況でした。同居していた両親のうち、自宅にいた父は無事で、寝たきりの母はデイサービスに行っていたために難を逃れました。特に、母のベッド上は落下物の散乱がひどく、もし、母が寝ていたらと思うと、正気ではいられなかったと思います。余震が続く中、とりあえずの片づけをしていると、母が送迎により帰宅しました。また、父は在宅酸素療法を行っていましたが、幸い、酸素供給業者が迅速に対応してくれたため助かりました。

翌日、避難指示が出されましたが、官房長官（当時）による「直ちに影響が無い」という発表や高齢で体の不自由な両親が避難所の環境に耐えるのは難しいことなどから、自宅に留まりました。その夜、高齢の両親が居ることを知っている知人が来て、喜多方市の（その知人の）親類宅への避難を勧めてくれました。この知人は、介護関係の資格を持っており、避難により介護サービスも受けられず途方に暮れる私たちを心配し、危険を承知でやってきてくれました。両親は逆に気を遣い「お前たちは逃げろ、ここで死なせてくれ」と口にすることもありましたが、14日朝、自宅を離れました。喜多方の皆さんは温かく迎え入れてくださり、本当にありがたく、被災後、

床ずれが悪化してひどい状態だった母を入浴させ、患部の手入れをしてあげられたとき、母の安堵した顔を見て、少しでも親孝行ができるかなと思いました。その後、新潟県内の親類宅を経て、両親は東京都内に住む妹のもとで生活しています。

この仮設住宅に入居してから、かつて町議会議員だった経験が少しでも役立てばと思いい、自治会長をさせていただいています。日頃お世話になっている地域の皆さんとの交流や調整などを通して、より良い生活の実現を目指しています。当初、32世帯が入居していましたが、家族との同居や住居の確保などによる退去のため、現在、25世帯となっています。入居者の減少はさみしく感じられますが、新たな一歩を踏み出すことゆえ、笑顔で送り出すことにしています。また、市内で避難生活を送る他町村の自治会で構成される「福島市相双自治会連合会」の副会長も務めさせていただいています。

自分たちに非が無いことによる避難生活は2年半を越えましたが、現在もなお、支援をお寄せ頂いている全国の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。

また、国の諸制度や東電の対応に違和感を感じることもしょなくあります。そうした中、私や両親を含めた高齢者は残された時間が少なく、今後への不安は大きくなるばかりです。「モノ」に仮設はあっても、「人生」に仮設は無いです。

いとう きちお
伊藤 吉夫 さん

(新山)



●避難先●
福島県郡山市



一昨年3月12日早朝、防災無線で避難指示を知り、詳しい情報を得るため、役場に向かうと、防護服や防毒マスクで完全防備姿の数が小箱を持って役場庁舎から足早に出てきました。話しかけましたが何の応答も無く、車に乗り込み発電所方向に行きました。その姿に、放射能の拡散など深刻な状況にあると確信しました。急いで帰宅すると、近所の人たちが「早く避難しないと大変な事になるぞ」と血相を変えています。私は家族や隣人とともに川俣町内の避難所に向かいました。その道中、長年、原発建設に携わってきた経験から、原発は何か持ちこたえられるのではと思いましたが、最悪の事態となってしまうました。その後、田村市内の実家を経て、町から加須市の避難所への移動も勧められましたが、県内残留の思いが強く、田村市総合体育館に避難されている町民数百名と共にホテルリステル猪苗代に向かいました。そして、県内外に一次避難していた皆さんが、その情報を聞いて次々と集まり、ピーク時、約800人が入所しました。大勢の仲間と顔を合わせる事ができ、心強く感じられたほどです。

そんな中、私たちは、役場機能が県内に必要との観点から、その帰還に向けて福島・埼玉両県庁に、町民有志一丸となって、陳情や要望活動を続けました。また、9月で避難所が閉鎖されることになったため、仮設住宅、借上住宅、要介護者など、それぞれの状況に応じた自立に向けて行動しました。中には、自ら行き先を探すのが難しい人もあり、そうした方のお手伝いのため、猪苗代と郡山市を往復する日々が続きました。

避難所が閉鎖され、私と妻は、郡山市内の借上住宅で生活を始めました。しかし、慣れない土地で、同じ避難町民同士が近所においても分からない状態の中、孤独になりがちです。そこで昨年一月、有志とともに「双葉町県中地区借上げ住宅自治会」を発足させました。私は会長に選任され、現在、会員として県内外の約250名の登録があり、毎月、情報交換の場として定例会が行われております。皆さんと交流を図るうちに、「安全な故郷に、いつか帰れるのだろうか」と日々の不安や、「いつでも誰でも、自由に話し合える場所がほしい」といった声が多く聞かれるようになりました。そのため、自治会役員全員で様々な模索を行い、NPO法人を介し、被災者支援事業を活用して、今年5月、郡山市大槻町に憩いのスペース「絆カフェせんだん広場」をオープンさせる事ができました。ご尽力いただいた皆様には、感謝の気持ちでいっぱいです。

町を追われて2年超、この原子力災害の難題を避けて通る事はできません。皆さんそれぞれが、それぞれの道を歩むことになると思いますが、我が故郷と、その絆だけはいつまでも忘れる事なく持ち続け、一歩ずつ前進していきたいと思っています。



うぬま かずお
鵜沼 一夫 さん
 ひさえ
久江 さん

(細谷)

ふるさと **絆通信** ●避難先●
 埼玉県久喜市

一昨年4月、加須市の避難所の掲示板上に「農業を行うことが条件で農地・納屋・住宅を一体で無償貸与」という案件があり、私たち夫婦は、早速、申し込みました。避難前は水稲(水田約7ha)と畜産(肉用牛・繁殖から肥育の一貫で50頭を飼育)を行っていました。畜産で出た堆肥を使って水稲栽培をする循環型の有機農法でした。現在、その申し込みをした物件で農業をしながら生活しています。水田が2.5ha、畑は1.5haです。もちろん、畜産はできません。

避難後しばらくは何も手に付かない状態でした。置いてきた牛たちはどうなったのか、家はどうなったのか、いつ帰れるのだろうか。原発の深刻な状況が明らかになっていく中で、絶望、悲しみや悔しさが入み上げていました。そんな時、この物件と出会い、夫婦で再チャレンジを決意しました。早速、避難所を出て、こちらでの生活を始め、まずは経験のある水稲栽培に着手しました。育苗の時期は過ぎていましたが、近所の農家から苗を分けていただき、一昨年6月、初めての田植えをすることができました。被災まで、毎年、当たり前のように行っていた田植えが、その年は、大きな喜びに感じられ、あまりの嬉しさに、田植え後、皆さんを集めて「さなぶり」の祝宴をあげたほどです。

また、長年、農業をしていたというもの

の、本格的な野菜栽培の経験はありません。そこで、埼玉県農林公社のお世話になり、野菜作りを約10カ月間学びました。生産物は周辺の直売所などで販売しています。初めのうちは、双葉と埼玉の気候など環境の違い、他の生産者が完売する一方、私たちの出荷物は売れ残ることなどもありました。いろいろなと教えてもらいながら改善を続け、今では、販売に追いつかないこともあるほどです。そして、ふるさとへ帰還できるときが来たらいつでも経営を譲れるように、昨年4月、農林公社で知り合った仲間と共に、農事組合法人「双葉夢ファーム」を設立しました。

昨年2月、第一原発の近くで息絶えた母牛のそばに重症を負いながらも生きていた子牛が保護されたことが新聞に載りました。うちの牛に違いないと早速、保護されている「希望の牧場」(浪江町)に向かい、「福」と名付けられた子牛と面会しました。脊髄損傷を負っていて自由に動けないものの、そのつづらな表情に癒され、希望を抱かせてもらいました。しかし、その後、同年3月16日、世話をしていた皆さんに見守られ、息を引き取り母牛のもとに旅立ちました。こうした巡り合わせも何かの縁なのでしょう。長年、暮らしを支えてくれた牛たちが、この「福」を通して、私たちに希望と勇気を与えてくれたのだと思っています。

有限会社根本自動車いわき工場

代表取締役

ねもと ひでき
根本 英樹 さん
 (下条)



●避難先●
 福島県いわき市



昨年9月、現在のところ、「いわき工場」として本格的に事業を再開しました。

一昨年3月11日の地震発生当時、私はいわき市内の車検場におりました。幸い、地震の直後、会社にいた従業員と電話がつながり、全員無事だという確認はとれましたが、会社や工場、自宅の状況までは確認できませんでした。地震の揺れがある程度落ち着くまで待つて、双葉町に向かいましたが、通常、1時間半程度の道のりが、道中、路面の損壊が多く、徐行や迂回を繰り返したため、会社に着いたのは夜11時過ぎでした。会社の敷地内では、地震のため地面が液化化するなどの被害がありました。

翌日から避難が始まりましたが、当初、両親や妻と共に、郡山市内に住む弟のもとに約1ヶ月間世話になりました。その後4月下旬、妻とともにいわき市内のアパートに移りました。当時はまだ、帰還できるかすらわからない状態でしたが、何もしなければ何も進まないのので、レンタカー会社で働き始めました。これまで、経営者として従業員を雇う立場から「雇われる立場」になり、自分より20歳以上も若い「先輩」のもと、要領を得るまで戸惑うこともありましたが、被災し避難している状況だからこそできる経験と前向きにとらえ、続けることにしました。また、今後しばらく生活を続けることになるであろういわき市内が、どのような

商売になっっているのかを知る必要もあつたため、レンタカー業界で他人の釜の飯を食いながら、マーケティングができればと思えば、不幸中の幸いかと思います。

そうした中、元来のお客様たちから、修理や車購入の要望が寄せられるようになりました。初め、その都度対応していましたが、一昨年9月からは、勤めを辞め、同業者の工場を間借りして仮営業を始めました。いわき市内に避難しているお客様や仮設住宅をまわり、営業再開のあいさつ回りを行うなどした結果、仕事の件数もそれなりにまるとまる見通しがついたため、賃貸物件を探し、現在の場所に工場を構えるに至りました。

現在、工場スタッフ、妻を含め3人で営業しています。避難前の規模には程遠い状況にはありますが、お客様のニーズにこたえるべく営業を続けてまいります。



〒971-8182

福島県いわき市泉町滝尻字松原31-1

電話 (0246) 38-9880

ぼくの夢・わたしの夢



双葉南小学校6年 ^{かるか} ^{りょうすけ} 菱花 瞭介 くん
(現在:会津若松市立門田小学校)

ぼくの夢は、アメリカのMIT大学（マサチューセッツ工科大学）へ行って勉強し、世の中のためになるような物を発明する発明家になることです。

なぜかという、今は、福島第一原子力発電所の放射能の問題や地球温暖化などの問題がたくさん出てきているので、それらの問題を解決し、日本のため、世界のために役に立ちたいと思ったからです。

今は、その夢に向かって物理学や最新の機械を取り扱っている中学校を受験するために頑張っています。そして、自分の発明でさらに明るい日本をつくってあげたいと思います。

今月の表紙



今月の表紙は9月14日に福島県営あづま球場で開催された第7回福島県市町村対抗軟式野球大会に出場した双葉町選手の皆さんです。双葉町チームは震災後初めて3年ぶりの参加となり、選手の皆さんは各避難先から集結して試合に臨みました。

第一試合は大玉村と対戦し、2対1の逆転勝ちで勝利を収め、初戦を突破しました。試合終了後、勝利チームの町旗が掲揚され、「双葉町民の歌」が会場に流れると応援に駆け付けた町民の皆さんから大きな声援と拍手が送られました。



まつえださとみ
松枝 海ちゃん(2歳1カ月と)
お母さんの明美さん(下条)

おがあさんといっしょ

ふる郷の美しい海を忘れないように!

▲ 現在、猪苗代町にお住まいです。

双葉町民の避難状況

(平成25年9月2日現在)

- ・ 福島県内に避難されている方 3,827人
- ・ 福島県外に避難されている方 3,067人

連絡先

○いわき事務所 〒974-8212 福島県いわき市東田町二丁目19-4
☎ 0246-84-5200 FAX 0246-84-5212、0246-84-5213
✉ futaba@town.futaba.fukushima.jp

○郡山支所 〒963-8024
福島県郡山市朝日一丁目20番2号
☎ 024-973-8090
FAX 024-933-5120

○埼玉支所 〒347-0105
埼玉県加須市騎西36番地1 加須市騎西総合支所1階
☎ 0480-53-7780 FAX 0480-53-7266
✉ saitama@town.futaba.fukushima.jp

✉ fukushima@town.futaba.fukushima.jp

○双葉町公式ホームページ <http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/>
携帯サイト <http://www.town.fukushima-futaba.lg.jp/m/>

アドレスが
変わりました